

事業所名

さん・さん時之島

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

令和6年

4月

1日

法人(事業所)理念		1.高齢者、子ども、障がいを持つ人、全ての人が安心して暮らすことのできる差別のない地域福祉社会の提供。「共に笑い」「共に感じ」「共に活動す」温かい家庭になるような場の提供。3.個々の自己実現のため、ニーズに合わせた支援提供。						
支援方針		子どもの発達側面から、心身の健康や生活に関する「健康」「生活」・運動や感覚に関する「運動・感覚」・認知と行動に関する「認知・行動」・言葉・コミュニケーションの獲得に関する「言葉・コミュニケーション」・人との関わりに関する「人間関係・社会性」の5領域を相互に関連付けた支援の提供。将来において日常生活や社会生活を円滑にいとめるように支援します。						
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	①健康状態を把握して、健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。②健康の増進を図り、基本的な生活のリズムを身につけられるように支援する。③						
	運動・感覚	①一人一人の子供を適切に評価して、「姿勢と運動・動作」の基本的技術の向上の為に支援する。②子供の障害特性に合わせて「身体の移動能力」の向上の為に支援する。③子						
	認知・行動	①感覚を十分活用して、認知機能の発達を促すために制作活動(工作・折り紙・貼り絵等)や身体遊び(鉄棒・アスレチック・ジム等)を学習プログラムとして取り入れる支援をする。						
	言語 コミュニケーション	①体系的な言語の習得、自発的な発声を促す計画を立案して実践する。②ツールを活用して相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする等、言語を受容し表出する支援						
	人間関係 社会性	①人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援をする。②遊び活動を通して模倣することにより、社会性や対人関係の促し						
家族支援		①子供に関する情報の提供と定期的な支援、課題の聞き取りと必要な助言を支援する。②課題についての気づきの促し、支援の輪を広げるために支援。③相談支援員、関係者との連携による支援体制を構築する。			移行支援		・適切な発達、環境の評価を行い、偉子先との調整、移行先の環境調整	
地域支援・地域連携		①医療機関、保健所、児童相談所、教育機関の関係者との連携を図る支援を行う。②市域支援体制会議、個別支援会議、自立支援協議会等への参加が出来る様に支援する。			職員の質の向上		①毎月の勉強会(課題別)への参加、報告書の提出の支援。②外部勉	
主な行事等		①誕生日会②進級・卒業祝賀会③成人式、入所式④合宿学習⑤運動会(法人・地域・町内会)⑥長崎・広島平和学習旅行⑦四国八十八カ所巡りの旅⑧遺跡巡りの旅⑨ハロウィンクリスマスパーティー⑨防災訓練(年回)⑩外部絵画展⑪町内会盆踊り参加⑫町内会清掃活動参加⑬地域バザー参加⑭施設交流会						